

令和3年度 学校教育に関するアンケート調査結果について

本年度の本校教育に関わるアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。教員、生徒、保護者への調査結果をまとめましたので、ご覧ください。本結果を、次年度の学校教育に生かしてまいりたいと思いますので、今後ともご理解、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

項目	重点目標	具体的取組	これまでの評価の観点・目標指数	判断基準	アンケート結果	判定割合	分析と今後の取組				
豊かな心	道徳の授業充実を図る。		(取組指標) 道徳の授業では、人としての生き方について考えを深めるために、魅力的な授業になるよう努めながら計画的に実施している。	教員 A あてはまる。 A   11% B ほぼあてはまる。 B   72% C あまりあてはまらない。 C   6% D 時間の確保ができなかった。 D   11%	A+Bが	83%	コロナ禍で、学校公開の機会が確保できない中、学年通信を通して、道徳で学習した内容や生徒の感想を保護者に伝えたことで、おおむね高い評価を維持することにつながっていると考えられます。来年度もホームページや学年通信等で積極的に保護者に学校の様子を伝え学校の取り組みを知ってもらいます。				
			(目標指数)A+Bが80%以上	生徒 A あてはまる。 A   54% B ほぼあてはまる。 B   43% C あまりあてはまらない。 C   2% D あてはまらない。 D   1%	A+Bが			97%			
			(成果指標) 道徳の授業にしっかり取り組み、人としての生き方について考えを深めることに役立ったと思う。	保護者 A あてはまる。 A   20% B ほぼあてはまる。 B   55% C あまりあてはまらない。 C   11% D あてはまらない。 D   0% E わからない。 E   14%	A+Bが			87%			
			(満足度指標) 自分の子どもは、学校の道徳の授業にしっかり取り組み、人としての生き方について深く考える心が育っていると感じる。	(目標指数)A+Bが85%以上(「E わからない」以外)	E			0			
	学校行事の充実を図る。			(取組指標) 生徒一人一人が主体的に取り組めるよう、検討しながら実施している。	教員 A あてはまる。 A   45% B ほぼあてはまる。 B   55% C 時間の確保はできたが、その他が十分に検討できなかった。 C   0% D 生徒の活動時間の確保ができなかった。 D   0%	A+Bが		100%	今年度も制限がかかることが多かったですが、その中でも、生徒達ができる範囲で主体的に考え、計画を実行することができました。来年度も引き続き工夫をし、生徒たちが達成感や充実感を味わえる行事の在り方を考えていきます。		
				(目標指数)A+Bが85%以上	生徒 A あてはまる。 A   62% B ほぼあてはまる。 B   35% C あまりあてはまらない。 C   3% D あてはまらない。 D   1%	A+Bが				96%	
				(満足度指標) 友達と協力しながら、積極的に取り組み、充実した活動ができています。	保護者 A あてはまる。 A   25% B ほぼあてはまる。 B   75% C 時間の確保はできたが、その他が十分に検討できなかった。 C   0% D 生徒の活動時間の確保ができなかった。 D   0%	A+Bが				100%	
				(目標指数)A+Bが85%以上	E	0					
	思いやりの心を持ち、社会で他人と協力のできる生徒を育てる。	命を大切に 教育について (命のぬくもり体験学習、性教育、避難訓練、人権教育、その他命についての指導)		(取組指標) 生徒一人一人が命の大切さに気づき、自他の命を尊重しようとする態度を身に付けるよう時間を確保し、学年で検討しながら実施している。	教員 A あてはまる。 A   25% B ほぼあてはまる。 B   75% C 時間の確保はできたが、その他が十分に検討できなかった。 C   0% D 生徒の活動時間の確保ができなかった。 D   0%	A+Bが		100%		昨年度は助産師さんによる講演や妊婦体験を通して学習したが、今年度は赤ちゃん人形を使っての「赤ちゃん抱っこ体験」を実施しました。人形があつても、生徒の愛おしさに抱き上げやすさから、命の大切さを学ぶことができたと感じます。来年度も道徳や学活、2年生の総合などで取り組んできていることを継続していきます。	
				(目標指数)A+Bが90%以上	生徒 A あてはまる。 A   74% B ほぼあてはまる。 B   23% C あまりあてはまらない。 C   2% D あてはまらない。 D   1%	A+Bが					97%
				(成果指標) 命の大切さに気づき、自他の命を尊重しようとしている。	保護者 A 取組に満足している。 A   34% B 取組に概ね満足している。 B   52% C 取組にあまり満足していない。 C   2% D 取組に満足していない。 D   0% E わからない。 E   12%	A+Bが					97%
				(満足度指標) 学校での命に関する教育は、命の大切さを実感させ、自他の命を尊重しようとする態度を身に付けるのに効果的である。	(目標指数)A+Bが85%以上(「E わからない」以外)	E					0
いじめの防止に関する取り組みについて			(取組指標) 生徒の人権意識を高め、組織的に対応している	教員 A あてはまる。 A   55% B ほぼあてはまる。 B   45% C 時間の確保はできたが、その他が十分に検討できなかった。 C   0% D 生徒の活動時間の確保ができなかった。 D   0%	A+Bが	100%	今年度もいじめに関する調査を生徒には毎月、保護者には学期に一度行い、発見されたものについては、各学年で素早く対応し解決する取り組みをしました。また、教育相談やQUアンケートの結果、生徒の言動などから、気がかりな生徒について教職員で情報共有に努め、生徒理解・いじめの早期発見に努めてきました。いじめに関する内容やSOSの出し方に関する内容の授業・指導をクラス、学年、全校で行い、生徒のいじめに対する意識を高め、いじめは絶対に許されないという雰囲気をも今後も継続していきます。				
			(目標指数)A+Bが90%以上	生徒 A あてはまる。 A   58% B ほぼあてはまる。 B   31% C あまりあてはまらない。 C   10% D あてはまらない。 D   1%	A+Bが			89%			
			(成果指標) いじめの行為を受けたり見聞きしたりした場合、先生や保護者に相談したり伝えたりすることをこころがけている。	保護者 A 取組に満足している。 A   21% B 取組に概ね満足している。 B   61% C 取組にあまり満足していない。 C   9% D 取組に満足していない。 D   0% E わからない。 E   10%	A+Bが			90%			
			(満足度指標) 学校は、相談しやすい体制を整え、アンケートや面談で子供の不安等を把握し、対応する取組を行っている。	(目標指数)A+Bが85%以上(「E わからない」以外)	E			0			
確かな学力	基礎学力を身に付け、高い理想を抱き、互いに磨きあう生徒を育てる。	楽しくわかりやすい授業を実践する。		(取組指標) 授業の目標を明確化し、ICTを効果的に活用し、楽しくわかる授業づくりを努めている。	教員 A できた。 A   35% B ほぼできた。 B   55% C あまりできなかったなかつた。 C   5% D できなかった。 D   5%	A+Bが		90%	生徒の「わかる」という回答は昨年度より上昇しています。iPadの導入によるわかりやすい授業の工夫や取り組みは、生徒にしっかりと伝わっているようです。各学年とも定期テスト前などに各種小テストを行い個人指導なども加えながら基礎的な学力の向上に努めています。今後は取り組みの役割や成果がもつと保護者に伝わるよう努めていきます。		
				(目標指数)A+Bが85%	教員 A できた。 A   30% B ほぼできた。 B   55% C あまりできなかったなかつた。 C   15% D 意識して取り組んでいない。 D   0%	A+Bが					85%
				(取組指標) 思考力・判断力・表現力の向上に向け、言語能力の充実や学び合う場のある授業づくりを努めている。	生徒 A あてはまる。 A   51% B ほぼあてはまる。 B   40% C あまりあてはまらない。 C   8% D あてはまらない。 D   1%	A+Bが					91%
				(成果指標) 授業の内容がわかる。 (あるいは、授業中十分活動できた。)	保護者 A あてはまる。 A   15% B ほぼあてはまる。 B   61% C あまりあてはまらない。 C   12% D あてはまらない。 D   0% E わからない。 E   12%	A+Bが					86%
				(満足度指標) 学校の授業での、基礎的な学力の定着や自分の考えを深める取り組みに満足している。	(目標指数)A+Bが75%以上(「E わからない」以外)	E		0			

項目	重点目標	具体的取組	これまでの評価の観点・目標指数	判断基準	アンケート結果	判定割合	分析と今後の取組		
確かな学力	進路学習の充実を図る。	基礎学力を身に付け、高い理想を抱き、互いに磨きあう生徒を育てる。	(取組指標) 生徒が自分の進路について真剣に考え、主体的に学習に取り組めるよう指導内容を検討し、進路に関する情報伝達や、生き方に関する指導を計画的に実施している。	A あてはまる。	A	25%	85%	1年生では、インターネットなどを活用し、自分のやりたい仕事を見つけたり、具体的に自分に合った進路を考えたりしました。今後も目標に向かって頑張る中学校生活を送らせることを目指します。2年生では、1年後の進路について学習を行いました。高校調べや今年度の入試状況を学年だよりで知らせているので家庭でも話題には上がりが多かったのではないかとと思われる。3年生では、入試制度が大きく変わったこともあり、保護者自身がしなければならぬことが多くなったので、進路に関する意識が例年よりも高く、家庭での話題に多く上ったのではないかとと思われる。	
			(目標指数)A+Bが75%以上	B ほぼあてはまる。	B	60%			
			(成果指標) 自分の進路を考え、意欲的に学習に取り組んでいる。	C あまりあてはまらない。	C	15%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	D あてはまらない。	D	0%			
			(成果指標) 自分の子どもと進路について話し合っている。	A あてはまる。	A	41%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	B ほぼあてはまる。	B	38%			
	読書活動の推進を図る。			(取組指標) 読書活動の充実を図るため、朝読書の時間や学校図書館・学級図書館の有効利用に努めている。	C あまりあてはまらない。	C	19%		80%
				(目標指数)A+Bが75%以上	D あてはまらない。	D	2%		
				(成果指標) 朝読書の時間に、集中して読書することができている。	A あてはまる。	A	40%		
				(目標指数)A+Bが75%以上	B ほぼあてはまる。	B	40%		
				(満足度指標) 自分の子どもは学校や家庭で読書に親しんでいる。	C あまりあてはまらない。	C	19%		
				(目標指数)A+Bが75%以上	D あてはまらない。	D	0%		
健康的な体づくりに努める生徒を育てる。	健康な体づくりに努める生徒を育てる。	基礎体力の向上を図る。食に関する指導の充実を図る。	(取組指標) 授業や部活動、行事を通して、生徒の基礎体力の向上のための取り組みを計画的に実施している。	A あてはまる。	A	30%	70%	図書館については休休みに利用する生徒も多くなっています。朝読書の時間も集中して読書ができています。生徒はそれに満足していると思います。家庭では様々な余暇の過ごし方があり、さらに読書を勧めるのは難しいかもしれませんが、まずは朝読書に真剣に取り組んでいる様子を記録したり委員会で多読コンクールを行ったりして、家庭にその様子を伝えていきます。	
			(目標指数)A+Bが80%以上	B ほぼあてはまる。	B	40%			
			(成果指標) 朝読書の時間に、集中して読書することができている。	C 時間確保はしたが、その他が十分できなかった。	C	30%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	D 時間確保が十分できなかった。	D	0%			
			(満足度指標) 自分の子どもは学校や家庭で読書に親しんでいる。	A あてはまる。	A	56%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	B ほぼあてはまる。	B	31%			
	健康的な体づくりに努める生徒を育てる。			(取組指標) 授業や部活動、行事を通して、生徒の基礎体力の向上のための取り組みを計画的に実施している。	C あまりあてはまらない。	C	10%		87%
				(目標指数)A+Bが75%以上	D あてはまらない。	D	4%		
				(成果指標) 正しい食習慣(マナーを守り、三食ともバランスよく食べる)を身に付けている。	A あてはまる。	A	13%		
				(目標指数)A+Bが75%以上	B ほぼあてはまる。	B	29%		
				(満足度指標) 自分の子どもは学校や家庭で読書に親しんでいる。	C あまりあてはまらない。	C	58%		
				(目標指数)A+Bが75%以上	D あてはまらない。	D	0%		
健康な体づくりに努める生徒を育てる。	健康な体づくりに努める生徒を育てる。	基礎体力の向上を図る。食に関する指導の充実を図る。	(取組指標) 授業や部活動、行事を通して、生徒の基礎体力の向上のための取り組みを計画的に実施している。	E わからない。	E	0%	42%	給食委員会で食品に対する興味・関心を高めるような取り組みを積極的に行ってきました。ランチルームの掲示物を工夫したり、栄養教諭による指導を効果的に組み込んで実施したり、食育に取り組んできました。今後も生徒が将来にわたり自分の健康を考えて生活できるよう指導を継続します。	
			(目標指数)A+Bが80%以上	A あてはまる。	A	40%			
			(成果指標) 正しい食習慣(マナーを守り、三食ともバランスよく食べる)を身に付けている。	B ほぼあてはまる。	B	60%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	C あまりあてはまらない。	C	0%			
			(満足度指標) 自分の子どもは学校や家庭で読書に親しんでいる。	D できなかった。	D	0%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	A あてはまる。	A	25%			
	健康な体づくりに努める生徒を育てる。			(取組指標) 給食指導・食育の充実を図るため、学校全体あるいは学年で検討し、計画的に実施している。	B ほぼあてはまる。	B	60%		85%
				(目標指数)A+Bが75%以上	C あまりあてはまらない。	C	15%		
				(成果指標) 正しい食習慣(マナーを守り、三食ともバランスよく食べる)を身に付けている。	D できなかった。	D	0%		
				(目標指数)A+Bが75%以上	A あてはまる。	A	32%		
				(満足度指標) 自分の子どもは学校や家庭で読書に親しんでいる。	B ほぼあてはまる。	B	55%		
				(目標指数)A+Bが75%以上	C あまりあてはまらない。	C	13%		
健康な体づくりに努める生徒を育てる。			(取組指標) 自分の子どもに家庭で正しい食習慣(マナーを守り、三食ともバランスよく食べる)を身に付けるよう努めている。	D あてはまらない。	D	0%	86%		
			(目標指数)A+Bが75%以上	A あてはまる。	A	55%			
			(成果指標) 正しい食習慣(マナーを守り、三食ともバランスよく食べる)を身に付けている。	B ほぼあてはまる。	B	34%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	C あまりあてはまらない。	C	8%			
			(満足度指標) 自分の子どもは学校や家庭で読書に親しんでいる。	D あてはまらない。	D	2%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	A あてはまる。	A	55%			
開かれた学校	地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。	学校公開・授業参観の充実を図る。	(取組指標) 学校ホームページを更新したり、おたよりを発行したりするなど、学校の情報を積極的に発信している。	B ほぼあてはまる。	B	25%	75%	この項目については保護者の「わからない」がとても多く見受けられます。コロナ禍において公開授業や体育祭、文化祭への保護者参加の機会が減る中で、然るべき数字ではないかと思われる。その中でも、ホームページやお便りを通じて積極的に学校の様子を発信しているため、保護者の満足度は昨年度の75%から92%に伸びています。越前市全体のインターネットトラブルによる、3学期のホームページ更新が低調ですが、徐々に充実を図ります。	
			(目標指数)A+Bが85%	C あまりあてはまらない。	C	20%			
			(満足度指標) 学校公開・授業参観は生徒の様子がわかり参考になる。	D あてはまらない。	D	5%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	A あてはまる。	A	19%			
			(満足度指標) 学校ホームページや学校からのおたよりは、わかりやすく充実していると思う。	B ほぼあてはまる。	B	48%			
			(目標指数)A+Bが75%以上	C あまりあてはまらない。	C	13%			
	地域との連携により、教育活動の充実を図る。(主として総合的な学習の時間・1年「地域学習」「赤米栽培」・2年「命のぬくもり体験学習」・3年「赤米販売」)			(取組指標) 地域の連携に関心をもち、保護者や地域の力を活かした取り組みに積極的に関わった。	D あてはまらない。	D	0%		83%
				(目標指数)A+Bが80%以上	E わからない。参加していない。	E	19%		
				(成果指標) 学校は保護者や地域と協力関係を十分に築きながら、連携した取り組みを実施している。	A あてはまる。	A	23%		
				(目標指数)A+Bが80%以上	B ほぼあてはまる。	B	63%		
				(満足度指標) 地域の方々の協力を得て行った体験活動は充実していた。	C あまりあてはまらない。	C	4%		
				(目標指数)A+Bが80%以上	D あてはまらない。	D	0%		
開かれた学校			(取組指標) 地域の連携に関心をもち、保護者や地域の力を活かした取り組みに積極的に関わった。	E わからない。	E	4%	92%		
			(目標指数)A+Bが85%	A あてはまる。	A	10%			
			(成果指標) 学校は保護者や地域と協力関係を十分に築きながら、連携した取り組みを実施している。	B ほぼあてはまる。	B	65%			
			(目標指数)A+Bが80%以上	C あまりあてはまらない。	C	25%			
			(満足度指標) 地域の方々の協力を得て行った体験活動は充実していた。	D あてはまらない。	D	0%			
			(目標指数)A+Bが80%以上	A あてはまる。	A	23%			
開かれた学校			(取組指標) 地域の連携に関心をもち、保護者や地域の力を活かした取り組みに積極的に関わった。	B ほぼあてはまる。	B	63%	95%	赤米づくりを3年生から1年生にシフトしたり、2年生の赤ちゃん抱っこが実施できなかったり、2・3年生の地域とのかかわりが以前に比べて薄くなっています。その中でも、生徒会の呼びかけで、赤米販売や公民館清掃などに自主的に参加をする生徒も多く、地域の行事等の復旧を期待します。今後も地域に開かれた学校を目標に、現在も将来も生徒が地域で活躍する人材に育つよう、支援を継続します。	
			(目標指数)A+Bが80%以上	C あまりあてはまらない。	C	0%			
			(成果指標) 学校は保護者や地域と協力関係を十分に築きながら、連携した取り組みを実施している。	D あてはまらない。	D	0%			
			(目標指数)A+Bが80%以上	A あてはまる。	A	11%			
			(満足度指標) 地域の方々の協力を得て行った体験活動は充実していた。	B ほぼあてはまる。	B	30%			
			(目標指数)A+Bが80%以上	C あまりあてはまらない。	C	32%			
開かれた学校			(取組指標) 地域の連携に関心をもち、保護者や地域の力を活かした取り組みに積極的に関わった。	D あてはまらない。	D	12%	56%		
			(目標指数)A+Bが80%以上	E わからない。	E	11%			
			(成果指標) 学校は保護者や地域と協力関係を十分に築きながら、連携した取り組みを実施している。	A あてはまる。	A	26%			
			(目標指数)A+Bが80%以上	B ほぼあてはまる。	B	30%			
			(満足度指標) 地域の方々の協力を得て行った体験活動は充実していた。	C あまりあてはまらない。	C	32%			
			(目標指数)A+Bが80%以上	D あてはまらない。	D	12%			